

来院／来所 66 件

その他 6 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：305 件

内訳：電話 243 件

来院／来所 7 件

メール・書簡 3 件

その他 52 件

【主催した連絡会・協議会】

・協議会名：高次脳機能障害支援連絡協議会

・主催：長崎県

・日程：第1回 平成25年5月30日

第2回 平成26年2月4日

・開催場所：長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター

・概要：高次脳機能障害への具体的支援対策等を協議

・参加者数：延30名（委員数17名）

【主催した研修事業】

・H25.6.11

保健所高次脳機能障害支援普及事業研修：事例検討（グループワーク）

参加者数：16名

・H24.5.23、5.24

市町担当職員研修会 2回

参加者数：56名

・H25.8.20～H26.3.24

高次脳機能障害就労支援研修会 4回 参加者数：166名

（障害者職業センターと共催）

・H25.10.1～9.20、H26.1.25～26

神経心理学的検査研修会 2回

参加者数：187名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

・名称：ケース会議

・回数：9回

・開催場所：長崎こども・女性・障害者支援センター

・概要：就労支援

・参加者数：延53名

・協力した研修会：16回 参加者延761名

【協力した会合】

・名称：ケース会議

・回数：19回

・開催場所：医療機関、障害者職業センター、ハローワーク、就労移行支援事業所等

・概要：生活支援・就労支援

・参加者数：延116名

【活動内容】

・救急告示医療機関へ「退院時リーフレット」の配布

・高次脳機能障害の紹介リーフレットの配布

・高次脳機能障害者通所事業（精神科ショートケアとして実施）

・その他

【事業課題】

小児期高次脳機能障害支援体制の検討

熊本県

＜支援拠点（協力）機関名＞

熊本県高次脳機能障害支援センター

熊本大学医学部附属病院 神経精神科内

熊本県熊本市本荘1丁目1番1号

TEL：096-373-5784

【相談支援コーディネーター（職種）】

田中 希（精神保健福祉士）

【相談事業】

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計：568 件

内訳：電話 249 件

来院／来所 254 件

メール・書簡 52 件

その他 13 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計 453 件

内訳：電話 296 件

来院／来所 21 件

メール・書簡 115 件

その他 21 件

【主催した連絡会・協議会】

・熊本県高次脳機能障害検討委員会

日程：H25 年 5 月 20 日、H26 年 2 月 23 日

開催場所：熊本大学附属病院 山崎記念館、神
経精神科研究棟

参加人数：15 名、15 名

【主催した研修事業】

・平成 25 年度市町村及び地域振興局障害保健福
祉担当者向け高次脳機能障害研修会

日程：H25 年 5 月 27 日

開催場所：熊本県庁

・H25 年度地域精神保健福祉医療担当者向け高
次脳機能障害支援研修会

<第 1 回>

日程：H25 年 5 月 23 日

開催場所：菊池地域振興局 大会議室

参加者数：59 名

<第 2 回>

日程：H25 年 6 月 6 日

開催場所：天草地域振興局 大会議室

参加者数：42 名

<第 3 回>

日程：H25 年 6 月 12 日

開催場所：八代城地域振興局 大会議室

参加者数：85 名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族
会、交流会等】

・熊本高次脳機能支援ネットワーク研究会

日程：H25 年 12 月 19 日

開催場所：熊本大学附属病院 山崎記念館

・第 8 回熊本大学高次脳機能セミナー・熊本県
高次脳機能障害検討委員会主催研修会

開催場所：熊本大学附属病院 医学教育図書棟
3F 講義室

参加者数：108 名

<研修会概要>

講演：「脳卒中後遺症としての高次脳機能障害
～当事者となった専門家からのメッセージ～」

三鷹高次脳機能障害研究所所長/神戸大学大学
院保健学客員教授 関啓子先生

【協力した会合】

1. H25 年 5 月 17 日 特別養護老人ホーム三和
荘

西 1・5 圏域居宅と包括の連絡会

「高次脳機能障害・認知症について」

2. H25 年 6 月 4 日 九州ルーテル学院

第 46 回くまもと障がい者就業支援研究 会

「高次脳機能障害者の方の就労支援について」

3. H25 年 7 月 18 日 熊本大学附属病院 医学
教育図書棟 3F 講義室 平成 25 年度名医に学ぶ
セミナー 「社会脳の神経基盤」

昭和大学医学部大学院生命科学研究部 神経内
科学部門 教授 川村満先生

4. H25 年 7 月 19 日 熊本大学附属病院 山崎
記念館

第 59 回熊本神経心理研究会

「てんかんと高次脳機能障害」

昭和大学医学部大学院生命科学研究部 神経内
科学部門 教授 川村満先生

5. H25年8月28日 熊本学園大学

しょうがい学生サポーター養成講座

高次脳機能しょうがい学生支援講義

6. H25年9月15日 山口県総合保健会館

平成25年度山口県リハビリテーション講習
会

7. H25年11月10日 熊本保健科学大学

ぶらむ熊本10周年記念式典

8. H25年12月12日 熊本大学病院 医学教育
図書棟3F 講義室

平成25年度名医に学ぶセミナー 「失語の症候
学と神経基盤」

北海道大学大学院保健科学研究院

准教授 大槻美佳先生

9. H25年12月13日 熊本市国際交流会館 6F
ホール

熊本神経心理研究会 第8回神経症候学研究会

10. H26年2月26日 熊本学園大学

しょうがい学生サポーター養成講座

高次脳機能しょうがい学生支援講義

11. H25年4月18日、5月2日、7月4日、8
月1日、9月5日、

10月3日、11月8日、12月5日、H26年2月6

日、3月6日 熊本市役所 ウェルパル熊本

熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会

12. H25年5月8日、8月21日、10月23日 ウ
ェルパル熊本

精神障がい者地域支援ネットワーク連絡会

【活動内容】

- ・研修会や会合でのパンフレット配布
- ・高次脳機能障害支援センターのホームページ
での研修会案内等
- ・研修会や会合での相談支援

・就労支援に向けたネットワークの強化（就労
支援事業所との情報交換等）

・訪問による支援会議の開催

・H25年11月29日

第37回日本高次脳機能障害学会発表

「高次脳機能障害における精神科の関わりにつ
いて」

大分県

<支援拠点（協力）機関名>

社会福祉法人

農協共済別府リハビリテーションセンター

実践リハビリテーション部

社会復帰支援課

大分県別府市鶴見1026-10

0977-67-1711

【相談支援コーディネーター（職種）】

安藤靖浩（精神保健福祉士）

【相談事業】

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計：120件

内訳：電話 95件

来院／来所 18件

メール・書簡 4件

その他〔訪問〕 3件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：126件

内訳：電話 70件

来院／来所 40件

メール・書簡 13件

その他〔訪問〕 3件

【主催した連絡会・協議会】

名称:平成 25 年度大分県高次脳機能障がい相談
支援体制連携調整委員会

主催者:大分県高次脳機能障がい支援拠点機関

日程:平成 26 年 3 月 14 日

開催場所:大分県こころとからだの相談支援セ
ンター

概要:平成 25 年度の取り組みおよび経過報告
について

全国高次脳機能障がい支援コーディネーター
会議の報告

平成 26 年度事業計画について

その他(就労移行支援について、脳外傷友の
会第 13 回全国大会・大分大会の概要について)

参加者数:20 名

【主催した研修事業】

1. 研修会名:高次脳機能障がい支援者基礎研
修会

日程:平成 25 年 7 月 5 日

開催場所:別府リハビリテーションセンター

概要:「高次脳機能障がいの概要」

「高次脳機能障がい者への支援」

参加者数:114 名

2. 研修会名:平成 25 年度 高次脳機能障がい
支援者職種別研修会

日程:平成 26 年 3 月 1 日

開催場所:大分県社会福祉介護研修センター

概要:「高次脳機能障がいのリハと社会参加」

講師:クラブハウスすてっぷなな所長

作業療法士 野々垣 睦美

「事例検討会 グループディスカッション」

参加者:55 名

【主催したケース会議, 勉強会, 研究会, 家族
会, 交流会等】

○主催したケース会議

※<名称:日程:開催場所:概要

:参加者数の順にて>

1 個別支援会議:H25.04.11:熊本学園大学:
就学支援について:6 名

2 個別支援会議:H25.05.17:別府リハビリ
テーションセンター:復職支援について:4 名

3 個別支援会議:H25.07.30:別府リハビリ
テーションセンター:在宅生活の課題解決につ
いて:5 名

4 個別支援会議:H25.08.08:別府リハピ
リテーションセンター:就労支援について:6
名

5 個別支援会議:H25.08.12:別府リハビリ
テーションセンター:在宅生活の課題解決につ
いて:3 名

6 個別支援会議:H25.08.16:会社:復職支
援について:6 名

7 個別支援会議:H25.08.28:別府リハビリ
テーションセンター:福祉サービスの利用につ
いて:4 名

8 個別支援会議:H25.09.24:別府リハビリ
テーションセンター:在宅生活のサービス利用
について:4 名

9 個別支援会議:H25.10.17:障がい者就業・
生活支援センター:復職支援について:5 名

10 個別支援会議:H25.11.19:別府リハビリ
テーションセンター:就学支援について:4 名

11 個別支援会議:H25.12.06:別府リハビリ
テーションセンター:福祉サービスの利用につ
いて:3 名

12 個別支援会議:H25.12.10:熊本学園大
学:就学支援について:6 名

13 個別支援会議:H25.12.17:就労継続 B 型
作業所:福祉サービスの利用について:4 名

14 個別支援会議:H26.01.24:別府リハビリ
テーションセンター:福祉サービスの利用につ

いて：4名		別府リハビリテーションセンター	
15 個別支援会議：H26.01.24：別府リハビリテーションセンター：在宅生活のサービス利用について：4名	8	画像診断について 18名 脳機能勉強会 H25.07.24 別府リハビリテーションセンター	
16 個別支援会議：H26.01.31：就労継続B型作業所：福祉サービスの利用について：5名	9	画像診断について 21名 脳機能勉強会 H25.08.07	
17 個別支援会議：H26.02.14：就労継続A型作業所：福祉サービスの利用について：4名		別府リハビリテーションセンター	
18 個別支援会議：H26.02.17：就労継続B型作業所：福祉サービスの利用について：6名	10	画像診断について 46名 脳機能勉強会 H25.08.28	
19 個別支援会議：H26.03.13：別府リハビリテーションセンター：復職支援について：4名	11	別府リハビリテーションセンター 画像診断について 21名 脳機能勉強会 H25.09.04	
○主催した勉強会		別府リハビリテーションセンター	
※<名称 日程		画像診断について 22名	
開催場所	12	脳機能勉強会 H26.01.15	
概要 参加者数>の順にて		別府リハビリテーションセンター	
1 脳機能勉強会 H25.05.01		画像診断について 22名	
別府リハビリテーションセンター	13	脳機能勉強会 H26.01.29	
画像診断について 28名		別府リハビリテーションセンター	
2 脳機能勉強会 H25.05.22		画像診断について 19名	
別府リハビリテーションセンター	14	脳機能勉強会 H26.03.12	
画像診断について 30名		別府リハビリテーションセンター	
3 脳機能勉強会 H25.05.29		画像診断について 12名	
別府リハビリテーションセンター		○主催した事例研究会	
画像診断について 37名	1	事例研究会 H25.07.26	
4 脳機能勉強会 H25.06.05		別府リハビリテーションセンター	
別府リハビリテーションセンター		病棟・施設事例研究会 113名	
画像診断について 30名	2	事例研究会 H26.02.07	
5 脳機能勉強会 H25.06.12		別府リハビリテーションセンター	
別府リハビリテーションセンター		施設事例研究会 117名	
画像診断について 31名		○主催した家族会	
6 脳機能勉強会 H25.06.19	1	障害者支援施設・家族教室	
別府リハビリテーションセンター		H25.04.20	
画像診断について 23名		別府リハビリテーションセンター	
7 脳機能勉強会 H25.07.17		高次脳機能障がい理解について	

- 18名
- 2 障害者支援施設・家族教室
H25.05.18
別府リハビリテーションセンター
高次脳機能障がい理解について
17名
- 3 障害者支援施設・家族教室
H25.06.22
別府リハビリテーションセンター
高次脳機能障がい理解について
16名
- 4 障害者支援施設・家族教室
H25.07.20
別府リハビリテーションセンター
高次脳機能障がい理解について 15名
- 開催場所：大分ホルトホール
概要：高次脳機能障がいの方の地域生活について 参加者数：70名
- 3 名称：脳外傷友の会 in 大分
主催者：大分県脳外傷友の会
日程：H25.09.28
開催場所：大分ホルトホール
概要：高次脳機能障がい理解
参加者数：600名
＜協力交流会＞
1 名称：脳外傷友の会交流会
主催者：大分県脳外傷友の会
日程：H24.12.15
開催場所：大分オアシスタワー
概要：全国大会開催・交流
参加者数：300名
- 【協力した会合】
1. 個別支援会議
- 1) 主催者：障がい者就業・生活支援センター
H25.12.06
開催場所：障がい者就業・生活支援センター
概要：復職について 7名
- 2) 主催者：精神科クリニック H25.12.13
開催場所：別府リハビリテーションセンター
概要：福祉サービスの利用について 16名
＜協力研修＞
- 1 名称 愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関講習会
主催者：松山リハビリテーション病院
日程：H25.08.10
開催場所：松山市
概要：瀬戸内管内拠点機関研修会
参加者数：329名
- 2 名称：全国コーディネーター研修会
主催者：大分県脳外傷友の会
日程：H25.09.27
- 【活動内容】
- ◇広報・啓発 パンフレット作成及び配布
◇情報収集・調査
◇診断評価・リハビリ（入院，外来）：469名
◇その他
- ＜支援拠点（協力）機関名＞
諏訪の杜病院
〒870-0945 大分県大分市津守 888-6
電話 097-567-1277
- 【相談支援コーディネーター（職種）】
浅倉 恵子（作業療法士）
- 【相談事業】
◇当事者／家族からの直接相談のべ件数
合計：240件
内訳：電話 83件
来院/来所 152件
メール・書簡 2件

その他（訪問・出張・同行等）3件
◇機関・施設等からの間接相談のべ件数
合計:137件

内訳:電話 104件

来院/来所 18件

メール・書簡 1件

その他（訪問・出張・同行等）14件

【主催した連絡会・協議会】

1. 大分県高次脳機能障がい支援拠点会議

主催者：大分県高次脳機能障害支援拠点機関

4月5日 4月26日 5月8日

6月28日 12月13日

2. 平成25年度大分県高次脳機能障害相談支援 体制連携調整委員会

主催者：大分県高次脳機能障害支援拠点機関

3月14日 ころとからだの健康支援センター
15名

【主催した研修事業】

平成25年度大分県高次脳機能障害連絡協議会

総会 4月21日大分文化会館

59名

平成25年度大分県高次脳機能障がい支援者基
礎研修会 7月5日 別府リハビリテーション
センター 114名

平成25年度大分市高次脳機能障がい職種別研
修会 3月1日 場所大分県社会福祉 介護研修
センター 56名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族 会、交流会等】

ケース会議 115件 594人

【協力した会合】

・九州保健福祉大学 OT科 講義
4月27日、6月1日、9月21日、9月24日

・日本脳外傷友の会全国大会 実行委員会 5
月1日、6月28日、7月8日、7月29日、8月
22日、8月30日、9月9日、9月17日 出席

・高次脳機能障害者支援情報マップ作成事業ワ
ーキング検討会議

5月18日、1月25日 出席

・平成25年度第1回支援コーディネーター全国
会議 6月25日 出席

・平成25年度 第1回高次脳機能障害支援普及
全国連絡協議会 6月26日 出席

・平成25年度第1回厚労科研費研究班九州ブロ
ック会議及びコーディネーター会議 7月26日
出席

・愛知医科大学特別講演 9月3日 講師

・日本脳外傷友の会 決起集会 9月24日 出
席

・高次脳機能障がい全国支援コーディネーター
研修会 9月27日出席

・日本脳外傷友の会全国大会 in 大分
9月28日 ホルトホール大分 718名
座長・講演・出席

・平松学園 PT科・OT科 講義
(平成25年度後期)

・自動車運転再開とリハビリテーションに関す
る研究会 10月5日 出席

・日本リハビリテーション病院・施設協議会 障
害児・者のリハビリテーションのあり方検討委
員会 10月10日 出席

・平松学園 PT科・OT科 (後期) 講義

・平成25年度第2回厚労科研費研究班九州ブロ
ック高次脳機能障害支援コーディネーター会議
10月11日、12日 出席

・みんなのあおぞら 施設内研修会
10月28日 講演

・平成25年大分県自立支援協議会

11月6日、12月26日 出席
 ・豊後大野市研修会「高次脳機能障害と評価方法」 11月26日 豊後大野市役所
 16名 講演
 ・日本高次脳機能障害学会 学会・評議員会 出席 11月28日-12月1日
 ・北多摩南部医療圏 高次脳機能障害地域支援研修会 12月22日-23日 講演
 ・こころとからだの支援センターとの打ち合わせ会議 2月12日 出席
 ・平成25年度第2回支援コーディネーター全国会議 2月20日 出席
 ・平成25年度 第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 2月21日 出席

【活動内容】

◇広報・啓発
 ◇情報収集・調査
 高次脳機能障害を持つ方の対応に関するアンケート（情報支援マップ）
 ◇診断評価・リハビリ（入院、外来）
 ◇その他

【事業課題】

社会的行動障害（暴言、暴力、浪費、盗癖など）が重度の方の地域定着
 小児高次脳機能障害の実態把握
 自動車運転再開

宮崎県

<支援拠点（協力）機関名>

機関名：宮崎県身体障害者相談センター
 住 所：宮崎県宮崎市霧島1-1-2
 電話番号：0985-29-2556

【相談支援コーディネーター（職種）】

平田 茂樹（行政）
 有木 昌子（保健師）

【相談事業】

◇当事者・家族からの直接相談のべ件数

合計：87件
 内訳：電話 52件
 来院・来所 34件
 メール・書簡 1件
 その他 0件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：49件
 内訳：電話 43件
 来院・来所 6件
 メール・書簡 0件
 その他 0件

【主催した連絡会・協議会】

①平成25年度宮崎県高次脳機能障がい支援連絡会議

主 催：宮崎県
 日 程：平成26年1月30日（木）
 開催場所：宮崎県庁会議室
 出席者：50名

【主催した研修事業】

①身体障がい福祉業務市町村担当者会議

主 催：宮崎県
 日 程：平成25年4月25日（木）
 開催場所：宮崎県総合保健センター大研修室
 概 要：「高次脳機能障がいについて」「家族会代表による家族会の紹介」
 出席者数：63名

②高次脳機能障がい講演会

主 催：宮崎県
 日 程：平成25年11月11日（月）
 開催場所：宮崎県医師会館研修室、県内各

医師会テレビ会議場

概要：「高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション」

講師：産業医科大学医学部リハビリテーション部 教授 蜂須賀研二先生

参加者数：236名

③平成25年度高次脳機能障がい専門研修

主催：宮崎県

日程：平成26年2月15日（土）

開催場所：宮崎県総合保健センター大研修室

概要：「高次脳機能障がいのリハビリテーション～当事者とセラピストの視点からの気づき～」

講師：医療法人タナカメディカル

札幌田中病院 宮田康弘先生

宮田興子様（宮田康弘氏の母親）

参加者数：157名

④平成25年度高次脳機能障がい研修会

主催：宮崎県

日程：平成26年2月19日（水）

開催場所：宮崎市民文化ホール

概要：「高次脳機能障がい児の豊かな学びのために～教育現場にわかって欲しいこと、教育現場が知りたいこと」

講師：千葉県千葉リハビリテーションセンター 太田令子先生

参加者数：148名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

◎高次脳機能障がい症例検討会

①平成25年9月17日（火）

19時～21時

・宮崎県総合保健センター大研修室

・3医療機関からの4症例について検討

・参加者：118名

②平成26年1月16日（木）

19時～20時30分

・宮崎県総合保健センター大研修室

・2医療機関からの3症例について検討

・参加者：117名

◎家族会支援

①みやざき高次脳機能障がい家族会

「あかり」9回/年

（含 事前打ち合わせ会 3回）

②高次脳機能障がい・県北部家族会

「トウモロロー」1回

（家族会立ち上げ講演会）

【協力した会合】

1) 自立支援協議会「就労支援部会」

・主催：宮崎市

・日程：年間7回

・場所：宮崎市保健所、

宮崎市総合保健センター

・概要：障害者の就労に関する検討会

・出席者：障害者職業センター等障害者の就労に係る機関の職員

2) ケース会議

①退院時連絡会

・主催：宮崎市

・日程：平成25年7月25日（金）

・場所：院内会議室

・出席者：家族、病棟看護師、MSW、OT、ST、市保健師、市社協相談支援事業所職員、高次脳機能障がい支援コーディネーター

②在宅支援検討会

・主催：宮崎市

・日程：平成25年9月24日（火）

・場所：宮崎大学医学部附属病院会議室

・出席者：家族、主治医、MSW、市保健師、市社協相談支援事業所職員、高次脳機能障がい支援コーディネーター

③就労継続支援検討会

- ・主催：地域生活支援センター
(特定相談支援事業者)
- ・日程：平成25年12月19日(木)
- ・場所：就労継続支援事業所相談室
- ・出席者：家族、就労継続支援事業所責任者・指導員、地域生活支援センター職員、脳機能障がい支援コーディネーター

【活動内容】

①高次脳機能障がい講師派遣事業2回/年
依頼を受けて、高次脳機能障がい支援コーディネーターが、依頼先に出向いて高次脳機能障がいについて講義を実施。

②普及啓発

「高次脳機能障がい」の理解と支援の充実を図るためのリーフレット作成。

③高次脳機能障害総合相談日の開設

毎週火曜日

④ホームページによる広報

【事業課題】

特になし

鹿児島県

<支援拠点(協力)機関名>

鹿児島県高次脳機能障害者支援センター

〒890-0021

鹿児島市小野 1丁目1番1号

099-228-9568

【相談支援コーディネーター(職種)】

尾上佳代子(保健師)

【相談事業】

◇当事者/家族からの直接相談のべ件数

合計：225件

内訳：電話 169件

来所 54件

メール・書簡 0件

その他 3件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：196件

内訳：電話 173件

来所 18件

文書 1件

その他 4件

【主催した連絡会・協議会】

高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会

1. 期日：平成25年7月27日(土)

場所：始良保健所

参加者：支援拠点病院、始良・伊佐地域の支援協力病院、関係医療機関、介護保険関係機関、保健所、市町村 計30名

2. 期日：平成25年12月14日(土)

場所：県精神保健福祉センター

参加者：支援拠点病院・県内の支援協力病院、保健所、市町村、障害者職業センター等 35機関 計56名

【主催した研修事業】

◇一般県民及び支援者向け研修

期日：平成25年12月15日(日)

場所：県精神保健福祉センター

内容：講話「高次脳機能障害者の生活訓練～生活版ジョブコーチ支援～」

講師：岐阜医療科学大学看護学科 教授 阿部順子先生

参加者数：76名

◇医療・行政関係者向け研修

1. 期日：平成25年7月27日（土）
場所：始良保健所
内容：講演1「高次脳機能障害の診断とチームで行うリハビリテーション」

講師：鹿児島大学大学院総合研究科
リハビリテーション医学 准教授 下堂菌恵先生

講演2「精神保健福祉手帳申請などに
係る診断書作成の要点」

講師：鹿児島県精神保健福祉センター
所長 富永秀文

参加者数：55名

2. 期日：平成25年12月14日（土）
場所：県精神保健福祉センター
内容：講演「医療から社会生活へつなぐ～退院
後の生活におけるリハビリテーション」

講師：岐阜医療科学大学看護学科 教授 阿部
順子先生

参加者数：91名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族
会、交流会等】

特になし

【協力した会合】

6月29日（土） 高次脳機能障害「ふらむ」鹿
児島 総会への出席

主催：「ふらむ」鹿児島

場所：県精神保健福祉センター

7月8日（月）

職員研修会における講演

「子どもの高次脳機能障害とその支援」

主催：高次脳機能障害の生徒が在籍している1
中学校（鹿児島市）

【活動内容】

◇地域ネットワーク構築に向けた取り組み：県
内全域及び保健医療圏域毎にネットワーク連絡
会を開催

◇専門家のスキルアップ研修
（県内全域及び保健医療圏域毎）

◇支援拠点・協力病院に対して支援の実態と連
携機関、支援の困りごと、支援課題等について
アンケート実施

◇県内の相談支援事業所に対して高次脳機能障
害者への支援実態及び課題等についてアンケー
ト実施

◇大隅圏域の支援協力病院（3医療機関）との支
援協力及びネットワークづくりに関する意見交
換

◇高次脳機能障害者支援に係るケース会議

◇家族会支援：「ふらむ」鹿児島市の事務局を精
神保健福祉センター内に設置（H23年4月～）
および活動支援

【事業課題】

地域ネットワークの拡充：支援拠点病院、支援
協力病院、行政機関、相談支援事業所、介護関
連施設、就労支援施設などとの連携強化に加え、
関係機関の情報整理と情報提供を行う。また、
地域の相談窓口として保健所・市町村に加えて
相談支援事業所に協力を依頼し、支援体制の充
実を図る。

沖縄県

<支援拠点（協力）機関名>

医療法人タピック

沖縄リハビリテーションセンター病院

高次脳デイケア

沖縄県沖縄市比屋根2丁目15番1号

（098）-982-1863

【相談支援コーディネーター（職種）】

鈴木 里志（作業療法士）

平良 淳子（精神保健福祉士）

【相談事業】

◇当事者・家族からの直接相談のべ件数

合計：256 件

内訳：電話 149 件

来院 103 件

訪問・同行 4 件

メール 0 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：123 件

内訳：電話 97 件

来院 19 件

訪問・同行 3 件

メール 4 件

【主催した連絡会・協議会】

1. 沖縄県高次脳機能障害支援普及事業

拠点機関連絡会議

共 催：沖縄県障害保健福祉課・沖縄リハビリ
テーションセンター病院・平安病院

日 程：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 [隔
月 1 回／合計 10 回]

場 所：沖縄リハビリテーションセンター病院

概 要：事業進捗状況の報告

2. 沖縄県高次脳機能障害支援普及事業 拠点機
関会議

主 催：沖縄リハビリテーションセンター病院

日 程：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 [毎
週 1 回／合計約 50 回]

場 所：沖縄リハビリテーションセンター病院

概 要：事業計画・進捗状況の報告

【主催した研修事業】

1. 講演会

講演名：平成 25 年度沖縄県高次脳機能障害支援
普及事業講演会

高次脳機能障害の看護・リハビリテーション～
NS・PT・OT・ST に学ぶ支援方法～

日 程：平成 25 年 10 月 12 日

場 所：沖縄市民会館（中ホール）

概 要：各専門職種による高次脳機能障害者支
援に関する講演

講 師：名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院
看護師 藤山美由紀 氏

神奈川リハビリテーション病院 理学療法士

波多野 直 氏

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 作業療
法士 石川 篤 氏

永生クリニック リハビリテーションセンター
言語聴覚士 江村 俊平氏

参加者：319 名

2. 講習会

講習名：八重山地区高次脳機能障害講習会

「高次脳機能障害と支援の方法について～回
復期病院～」

「高次脳機能障害と支援の方法について～精
神科病院～」

日 程：平成 26 年 1 月 29 日

場 所：八重山合同庁舎 2 階大会議室

概 要：高次脳機能障害者の支援に関する講習
参加者：約 50 名

【主催したケース会議，勉強会，研究会，家族
会，交流会等】

1. ケース会議

期 間：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
[随時]

開催数：合計 9 回

概 要：各専門領域の支援者とのケース検
討会

参加者：延約 30 名

2. 勉強会

名 称：当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会

主催者：沖縄リハビリテーションセンター病院

日 程：平成 25 年 5 月～平成 26 年 1 月
[合計 8 回]

場 所：沖縄リハビリテーションセンター病院

概 要：高次脳機能障害関連の勉強会

参加者：延人 137 名

3. 家族会・交流会

名 称：集団認知プログラム『あるがまま』

主催者：沖縄リハビリテーションセンター病院

日 程：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
[合計 10 回]

場 所：沖縄リハビリテーションセンター病院

概 要：認知トレーニング・家族の集い

参加者：15 名 [延人数 126 名]

【協力した会合】

1. 連絡会・協議会

名 称：「沖縄県中部地区関係機関ネットワーク会議」

主 催：沖縄県中部福祉保健所

日 程：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
[隔月 1 回／合計 6 回]

場 所：中部福祉保健所

概 要：地域連携と多職種間連携を目的としたワークショップ（出席・発表）

参加者：延約 30 名

2. ケース会議

期 間：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
[随時]

開催数：合計 5 回

概 要：各専門領域の支援者とのケース検討会

参加者：延約 15 名

3. 勉強会・研究会

依頼者：医療・福祉の関連職域

期 間：平成 25 年 4 月～平成 25 年 3 月
[随時／合計 2 回]

概 要：当該事業ならびに高次脳機能障害に係る研修・講演

参加者：延約 70 名

【活動内容】

1. パンフレット 高次脳機能障害ハンドブック-障害の理解編-の新規作成
2. 情報冊子 おきなわ高次脳機能障害ガイドブック～リンク～の配布
3. おきなわ高次脳機能障害ガイドブック～リンク～の WEB 上での配信
4. ポスター・リーフレットの配布

【事業課題】

- ・普及啓発
- ・医療と福祉間(相談支援事業所)の連携強化
- ・遠隔地支援(離島など)の検討

<支援拠点(協力)機関名>

医療法人 へいあん 平安病院

地域連携係

〒901-2127 沖縄県浦添市字経塚 346 番地

TEL：098-877-6467

【相談支援コーディネーター(職種)】

赤嶺 洋司(臨床心理士)

新垣 香織(精神保健福祉士)

比嘉 弥生(精神保健福祉士)

【相談事業】

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計：163件

内訳：電話 73件

来院／来所 71件

外出 19件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計：80件

内訳：電話 77件

来院／来所 3件

外出 0件

【主催した連絡会・協議会】

▼高次脳機能障害支援普及事業拠点病院連絡会

第2回 5月28日 6名

第4回 9月2日 5名

第6回 10月29日 4名

第8回 2月25日 5名

【主催した研修事業】

▼研修会名：高次脳リハビリテーション講習会

日程：H26年1月29日（水）

場所：石垣市総合体育館・研修室

概要：「高次脳機能障害と支援の方法について」

参加者数：51名

▼研修会名：高次脳リハビリテーション講習会

日程：H26年2月8日（土）

場所：健康文化村カルチャーリゾートフェストーネ

概要：「高次脳機能障害者の精神的サポート」

参加者数：132名

▼研修会名：高次脳機能障害支援普及講習会

日程：H26年1月29日（水）

場所：八重山福祉保健所

概要：「高次脳機能障害者の支援の方法について」

参加者数：64名

▼研修会名：高次脳機能障害支援普及講習会

日程：H25年3月9日

場所：宮古福祉保健所

概要：「拠点病院における高次脳機能障害者支援の実際」

参加者数：59名

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

▼高次脳機能障害者家族のつどい

場所：経塚苑（平安病院内）

第1回 5月23日「高次脳機能障害について」

参加者：8名

第2回 7月25日「生活、就労支援について」

参加者：10名

第3回 9月26日「家族のメンタルヘルス」

参加者：17名

第4回 12月12日「家族のメンタルヘルス」

参加者：12名

第5回 2月27日「交流会」

参加者：10名

○ 高次脳機能障害支援普及事業運営委員会

主催：平安病院

高次脳機能障害運営委員会

日程：毎月第3木曜日 17:00～18:00（年12回開催）

場所：平安病院 南3階会議室

概要：高次脳機能障害支援普及事業講演会の企画、運営、報告

拠点病院連絡会の会議報告と議事録作成

支援普及事業の事業計画と予算見積もり、決算の確認

研修事業の企画、運営

病院での高次脳機能障害者に対する治療や支援の報告

事例検討

参加者：高次脳機能障害支援普及事業運営委員
13名

○ 高次脳機能障害ワーキングミーティング

日 程：毎週金曜日 12:00～13:00

場 所：平安病院 外来

参加者：5名（臨床心理士、精神保健福祉士、
デイケア作業療法士）

概 要：高次脳機能障害支援普及事業や委員会
を運営する中心メンバーによるワーキングミー
ティング。運営のための事前協議や事業案など
を作成することが主な活動目的。

【協力した会合】

▼ ケース会議

全27回 参加者数：85名

▼ 高次脳機能障害支援普及事業拠点病院連絡 会

第1回 4月30日 5名

第3回 7月30日 4名

第5回 9月24日 4名

第7回 11月26日 5名

第9回 3月25日 5名

▼ 高次脳機能障害支援普及事業 講演会

主 催：沖縄リハビリテーションセンター
病院

日 程：H25年10月12日

場 所：沖縄市民会館中ホール

概 要：「高次脳機能障害の看護・リハビ
リテーション」

参加者数：297名

▼ ジョブサポーター養成研修会

主 催：障害者就労支援センターさわやか

日 程：H25年6月22日

場 所：那覇市障害者福祉センター

概 要：「高次脳機能障害の理解と対応」

参加者数：20名

▼ 相談支援専門員継続研修会

主 催：沖縄県

日 程：H26年2月27日

場 所：健康文化村カルチャーリゾートフ
ェストーネ

概 要：「高次脳機能障害支援普及事業に
ついて」

参加者数：52名

▼ 広域相談専門員研修

主 催：沖縄県

日 程：H26年3月26日

場 所：沖縄県庁

概 要：「障害特性と社会的障壁」

参加者数：8名

【活動内容】

○ 第1回 高次脳機能障害支援普及 全国連
絡協議会

主 催：国立障害者リハビリテーションセンタ
ー

日 時：平成25年6月26日

場 所：国立障害者リハビリテーション学
院

概 要：平成24年度実施状況報告と平成25年
度運営方針

○ 第2回 高次脳機能障害支援普及 全国連
絡協議会

主 催：国立障害者リハビリテーションセンタ
ー

日 時：平成26年2月21日

場 所：三田共用会議所

概 要：平成25年度実施状況報告と平成26年
度運営方針

○ 第1回 高次脳機能障害支援コーディネ
ーター全国会議

主 催：国立障害者リハビリテーションセンタ
ー

日 時：平成25年6月25日

場 所：国立障害者リハビリテーション学
院

概 要：失語症のある高次脳機能障害者への支
援について

○ 第2回 高次脳機能障害支援コーディネー
ター全国会議

主 催：国立障害者リハビリテーションセンタ
ー

日 時：平成26年2月20日

場 所：三田共用会議所

概 要：各県の取組み、移動支援の取組み

○ 全国支援コーディネーター会議

主 催：NPO 法人 日本脳外傷友の会

日 時：平成25年9月27日

場 所：ホルトホール

概 要：支援の作り方について

◇ 広報・啓発

高次脳機能障害支援普及事業講演会の広報

① ラジオ沖縄

② FM OKINAWA

③ 石垣コミュニティFM

④ 琉球新報 レキオ

⑤ 沖縄タイムス ホームプラザ

◇ 調査、研究

高次脳機能障害のあるこどもに関する相談支援
状況調査

主 催：厚生労働科学研究

概 要：高次脳機能障害のあるこどもの相談支
援調査

高次脳機能障害支援普及事業支援拠点機関の状
況について

主 催：名古屋市役所健康福祉局障害企画
課

概 要：拠点機関の事業内容について

◇ 診断評価・リハビリ（入院，外来）

◇ 著書

【事業課題】

今年度は、昨年の課題にもあったように島嶼支
援に力を入れて普及啓発活動を行った。初めて
八重山地域に調査に赴き、関係機関や医療機関
を訪問した。そこで現状と高次脳機能障害につ
いての理解の度合いを確認した。当初、高次脳
機能障害の方はいない、認知症とどのように違
うのかと話していたが、実際に講習会と研修会
を開催すると当事者、家族の参加があり、現場
の福祉職員の困っている現状が浮き彫りになっ
た。保健所や役所、医療機関でなく、福祉領域
において抱えている現状が見えた。宮古地区で
は、地元の医療、就労、相談、福祉関係者によ
る島嶼支援研修実行委員会を立ち上げ、そのバ
ックアップを行う形を取りながら、地元の方た
ちによる支援の普及と医療福祉ネットワークの構築を
目指した。

平成19年度より支援普及事業を実施している
が、いまだ医師による診断書の作成に障壁が大
きい。一般科では高次脳機能障害は拠点機関で
一手に引き受けて欲しいという意向がまだ強く、
精神科では器質性精神障害なら受け入れるが、
高次脳機能障害で紹介されるとまだ抵抗が強い
のが現状である。

今年度、県からの研修会への講師依頼があつた
ことと相談員養成、社会的障壁関連の研修だつ
たこともあり、県の方々へ上記に述べたよう
な事情を理解して頂いた。その上で、来年度
は県の方より医師会への働きかけを多くして頂
けるようお願いすることができた。医療から

福祉への流れは大分できてきており、様々な事業所で高次脳機能障害、器質性精神障害の方を通常の流れで受け入れてもらえている。来年度は入口である医療での普及啓発に再度力をいれて実施する予定である。

4) 産業医科大学におけるその他の高次脳機能障害支援活動

(1) 脳受容体シンチグラフィーを臨床応用した意欲低下(アパシー)の診断

意欲低下(アパシー)は動機づけや意図的行動の減少であり、高次脳機能障害では臨床的に頻度の高い症状である。しかし客観的証拠に乏しく、気持ちの持ちよう、詐病、わがままと誤解されやすい。高次脳機能障害者で詳細な問診、神経心理学的精査と脳受容体シンチグラフィーを実施した外傷性脳損傷者 11 名を対象に検討した。診察と神経心理学的検査で高次脳機能障害と診断された 10 症例には脳受容体シンチグラフィーにて両側前頭葉内側に集積低下を認め、高次脳機能障害ではないと診断した 1 例では同部位の集積低下を認めなかった。

(2) 高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究

高次脳機能障害者の自動車運転適性の判定に積極的に取り組み、発信している全国の施設が集まり、産業医科大学を事務局として「自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究班」を立ち上げた。医療の立場からの判断基準として神経心理学的検査と自動車運転シミュレーションについて、自動車教習所の課題として立場から実車教習の基準化についてを課題として挙げ、簡易自動車運転シミュレーター(Simple Driving Simulator ; SiDS)の作成、共同研究計画の策定などを行った。平成 25 年 10 月 25

日には第 1 回自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会(参加者 450 名)を北九州国際会議場で開催した。同研究会での発表内容を平成 26 年 4 月末に刊行予定である。

(3) 高次脳機能障害者の復職評価のための注意持続検査

長時間の注意持続評価法として、750 回刺激による 21 分間の聴覚オドボール課題時の P300 を、外傷性脳損傷者 21 健常者 14 名に実施した。健常者では時間経過とともに前帯状回での P300 振幅の大きな変化を認めたが外傷性脳損傷者では時間経過に伴う変化を認めなかった。健常者では時間経過において注意の容量を減らして作業に対応しているが、外傷性脳損傷者はそのような対応ができないために疲労し易いことが示唆された。



(4) 社会復帰準備のためのリハビリテーション学級

入院や通院訓練等の医療リハビリテーションを完了しても社会復帰が困難である高次脳機能障害患者 2 名に対して、社会復帰準備のためのリハビリテーション学級を水曜日の午後、約 2 時間 30 分の設定で 10 回実施した。日常生活における意欲の向上、自らの高次脳機能障害の理解促進、参加者や医療スタッフとの交流が深まり声かけや挨拶など基本的な社会技能の向上が認められた。



D. 考察

高次脳機能障害のリハビリテーションを熟知した専門家に本年度も各県を代表してブロック委員に就任していただいた。支援コーディネーターおよび行政担当者と合同でブロック会議を開催し、研修や各県の支援事業の状況を報告し討議する中で、情報の交換や共有化を行った。

本年度はブロック会議に合わせての開催に加えて宮崎で2回目の支援コーディネーター会議を開催し、支援コーディネーター同士での情報交換、連絡・調整・助言等の状況や問題点について自由に討議する機会を増やした。九州地区では平成21年までの時点で8県全てに高次脳機能障害支援拠点機関を設置し、配置された支援コーディネーターを中心とした支援スタッフが経験を積みながら平成25年度は一層発展した内容で事業を推進することができた。

しかし、高次脳機能障害者や家族の相談内容に応じた支援を行うにあたって、高次脳機能障害者に適した実際に役立つサービスが地域に乏しい状態が依然として解消されていない。今後支援体制について量的のみならず質的充実をも課題として取り組むことが重要であろう。

E. 結論

九州各県から12名の九州ブロック委員を選任し、行政担当者と合同でブロック会議を開催した。各県における相談件数は5,421件となり、研修会や研究会等の参加者も3,848人であった産業医科大学では脳受容体シンチグラフィーを臨床応用した意欲低下(アパシー)の診断に関する研究、自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究、長時間の注意持続評価法として外傷性脳損傷者と健常者のP300の振幅変化の検討、社会復帰準備のためのリハビリテーション学級開催、等を実施した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

末尾に掲載する。

2. 学会発表

末尾に掲載する。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

研究成果発表に関する一覧表

学術誌発表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Katou, N. Iwanaga, M. Okazaki, T. Hachisuka, K.	Did the educational campaign to support persons with cognitive dysfunction encourage them to participate in society in Northern Kyushu, Japan?	Brain Inj.	Vol 27- No12	1423-1427	2013
岡崎 哲也	高次脳機能障害の社会復帰と職場復帰	Jpn J Rehabil Med	Vol 50- No7	543-546	2013
岡崎 哲也 佐伯 寛 蜂須賀 研二	高次脳機能障害に使用される簡易な神経心理学的検査の青年標準値 —Mini-Mental State Examination, Trail Making Test, Wisconsin Card Sorting Test パソコン版, 三宅式記銘力検査—	Jpn J Rehabil Med	Vol 50- No12	962-970	2013
川邊千津子 石井洋平 藤木 僚 小路純央	トランプの「神経衰弱」実施時における高次脳機能障害者の脳血流の特徴 —NIRS を用いた健常者	作業療法	32 (5)	451 - 461	2013
尾上佳代子 杉田郁子 大園佳子 富永秀文	鹿児島県における高次脳機能障害者支援活動	鹿児島高次脳機能研究会会誌	24巻1号	35～41 p	2013

学会発表

演者名	タイトル	開催日	学会・大会名	開催地
川邊 千津子 石井 洋平 藤木 僚 小路 純央 森田 喜一郎	高次脳機能障害者の後出しじゃけんにおける脳血流状態の特徴：事例を通して	2013.6.28-30	第 47 回日本作業療法学会	大阪
川邊 千津子 石井 洋平 藤木 僚 小路 純央 森田 喜一郎	後出しじゃけん時の酸素化ヘモグロビン変動の最大値及び潜時の評価	2013.11.7-9	第 43 回日本臨床神経生理学学会	高知
中津留 正剛 飯田 真也 頓所 つく実 樺島 美由紀 武本 暁生 岡崎 哲也 加藤 徳明 蜂須賀 研二	当院で実施した外傷性脳損傷患者における標準注意検査法 (CAT) の成績とその特徴	2013 年 11 月	第 37 回日本高次脳機能障害学会学術総会	松江
岡崎 哲也 甲斐 明子 蜂須賀 研二	メモ使用を許可した日常記憶評価の試み	2013 年 11 月	第 37 回日本高次脳機能障害学会学術総会	松江
甲斐 明子 橋本 学 岡崎 哲也 蜂須賀 研二	ミネソタ多面人格目録 (MMPI) の分類による外傷性脳損傷者の心理社会的特性	2013 年 11 月	第 37 回日本高次脳機能障害学会学術総会	松江
蜂須賀 研二	リハビリテーション医療現場におけるアパシーとその対策：総論	2013 年 11 月	第 37 回日本高次脳機能障害学会学術総会	松江